

講習の名称	【選択】 図画工作科・美術科における彫刻の指導－立体から彫刻へ－
講習の概要	彫刻という立体芸術がどのように日本に導入されてきたのか。江戸時代以前の立体作品と明治時代以降の西洋彫刻の影響を受けた日本の彫刻の歴史を概観するとともに、その造形的特質や造形要素、制作道具などについて講義と実技を通して理解する。さらに今後の授業の中で彫刻の課題の指導にどのように活かしていくかを考察する。
担当講師	土井 敬真（地域教育文化学部担当准教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 9 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	地域教育文化学部 1 号館 1 階 111 講義室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小・中・高等学校教諭（美術）
受講予定人数	24 人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	ノート、筆記用具 教科書等は必要ありません。 粘土を用いた実習も行いますのでエプロン等、作業の出来る服装で受講してください。
評価基準	①全時間出席していること ②テストの得点が60点以上であること
評価の観点	講習内容を理解し、説明（記述）と実制作での実践ができるか否か。
その他特記事項	